

証券コード 6379

レイズネクスト株式会社 決算説明会資料

2020年3月期 第2四半期

レイズネクスト株式会社

目 次

1. 2020年3月期第2四半期の事業環境	3	11. キャッシュ・フロー	13
2. 2020年3月期第2四半期の業績概要	4	12. 2020年3月期の業績見通し	14
3. 受注高の工事種類別内訳	5	13. 受注高及び完成工事高の内訳	15
4. 完成工事高の工事種類別内訳	6	14. 通期業績の推移	16
5. 受注残高	7	15. 配当について	17
6. 総利益	8		
7. 営業利益	9		
8. 営業外損益・経常利益	10		
9. 特別損益・当期純利益	11		
10. 貸借対照表	12		

1. 2020年3月期第2四半期の事業環境

- 国内経済は輸出を中心として景気の弱さが長引く。生産についても弱含み
- 製造業を中心に企業の景気判断は慎重な姿勢
- 企業収益は底堅く推移、設備投資も緩やかな増加傾向。全体的には緩やかな回復基調で推移
- 石油業界では、国内の石油需要はエネルギー構造の変化や少子化、省エネ化などにより減少傾向が続く見通し
- エネルギー供給構造高度化法への対応により精製能力が削減。製油所の稼働率も高水準で推移
- 石油化学業界では、エチレンプラントの高水準の稼働が維持されたが、合成樹脂の国内出荷の落ち込みなど、調整局面の中で推移
- 非鉄金属業界では、銅価格の下落、電子材料向け製品の需要調整などにより、減速基調
- 当期（2020年3月期）も定期修理工事が引き続き堅調に推移する見込み
- プラント強靱化対策工事、改造・改修工事、高機能製品生産の新規プラント建設工事などの受注に取り組む
- 人手不足による外注加工費の上昇の中、直接工事費の原価低減、経費の削減などにより収益の確保に努める

2. 2020年3月期第2四半期の業績概要（連結）

（参考）

（単位：百万円）

（単位：百万円）

	9/26発表値	2019.09	発表値比	増減率
受 注 高	102,500	101,090	-1,409	-1.4%
完 成 工 事 高	65,000	58,216	-6,783	-10.4%
総 利 益	6,000	7,569	+1,569	+26.2%
（率）	9.2%	13.0%	+3.8%	-
一 般 管 理 費	3,300	3,367	+67	+2.0%
（率）	5.1%	5.8%	+0.7%	-
営 業 利 益	2,700	4,202	+1,502	+55.6%
（率）	4.2%	7.2%	+3.0%	-
経 常 利 益	2,900	4,332	+1,432	+49.4%
（率）	4.5%	7.4%	+2.9%	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,850	8,327	+6,477	+350.2%
（率）	2.8%	14.3%	+11.5%	-
1株当たり当期純利益	34.15円	165.83円	+131.68円	+385.6%
受 注 残 高	67,593	72,942	+5,349	+7.9%

前期（2018.09）との差異		
	前期比	増減率
51,399	+49,691	+96.7%
43,789	+14,426	+32.9%
5,561	+2,008	+36.1%
12.7%	+0.3%	-
1,972	+1,394	+70.7%
4.5%	+1.3%	-
3,588	+613	+17.1%
8.2%	-1.0%	-
3,706	+625	+16.9%
8.5%	-1.1%	-
2,449	+5,878	+240.0%
5.6%	+8.7%	-

※上記の前期比および増減率は
第2四半期実績値との比較です。

特記事項

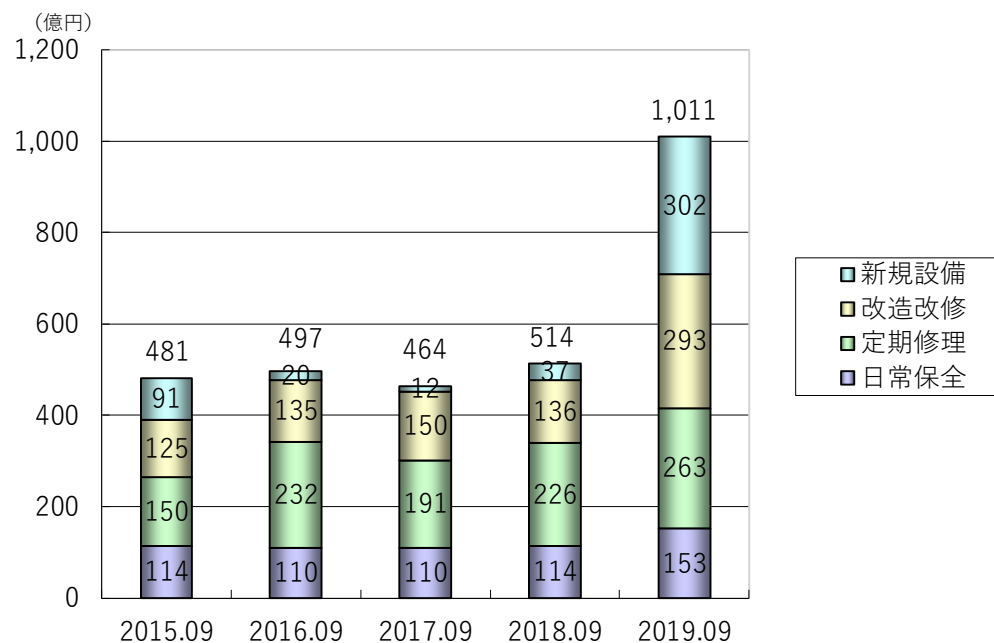
- ① 2019年7月1日に経営統合した関係から、上期決算は旧新興プランテックの上期分と旧JXエンジニアリングの7月から9月の3か月分。通期決算では旧新興プランテックの1年分と旧JXエンジニアリングの9か月分。
- ② 受注高の前期比での大幅な増加は、旧JXエンジニアリングの6月末の受注残高をレイズネクストの受注高として7月1日に受け入れたことによるもの。
- ③ 四半期純利益の大幅な増加は、経営統合により発生した負ののれん発生益を特別利益に計上したことによるもの。

3. 受注高の工事種類別内訳（連結）

（単位：百万円）

受注高	9/26想定値	2019.09	想定値比	増減率	前期（2018.09）	前期比	増減率
日常保全工事	14,500	15,281	+781	+5.4%	11,419	+3,861	+33.8%
定期修理工事	27,000	26,328	-671	-2.5%	22,610	+3,717	+16.4%
改造改修工事	30,200	29,270	-929	-3.1%	13,644	+15,625	+114.5%
新規設備工事	30,800	30,211	-588	-1.9%	3,724	+26,486	+711.1%
エンジニアリング業	102,500	101,090	-1,409	-1.4%	51,399	+49,691	+96.7%

過去5年間の受注高の推移（第2四半期）



- 受注高は、旧JXエンジニアリングの2019年6月末現在の受注残高を受け入れ、前期比で496億円の増加。
- 9/26想定値から14億円の減少

【日常保全工事】

- ①想定値比で若干の増加

【定期修理工事】

- ①上期予定の定期修理工事が下期にズレ込んだことにより想定値より若干の減少

【改造・改修工事】

- ①石油分野を中心に、中小規模の改造改修工事の受注を獲得

【新規設備工事】

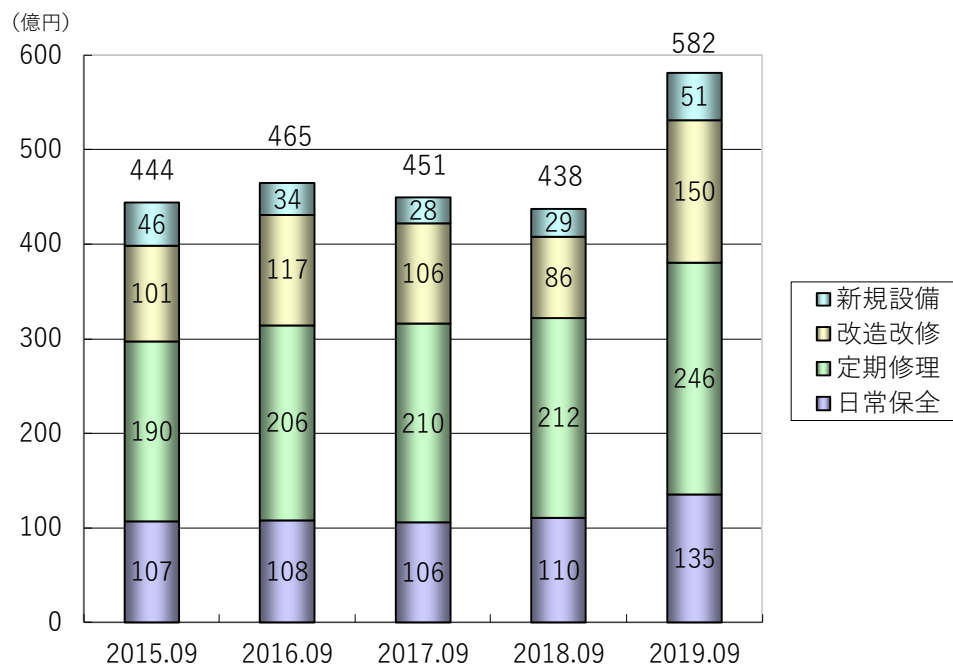
- ①一般化学を中心に引合は堅調

4. 完成工事高の工事種類別内訳（連結）

（単位：百万円）

完成工事高	9/26発表値	2019.09	発表値比	増減率	前期（2018.09）	前期比	増減率
日常保全工事	12,600	13,490	+890	+7.1%	11,029	+2,461	+22.3%
定期修理工事	23,300	24,573	+1,273	+5.5%	21,190	+3,383	+16.0%
改造改修工事	18,100	15,017	-3,082	-17.0%	8,578	+6,438	+75.1%
新規設備工事	10,900	5,063	-5,836	-53.5%	2,914	+2,148	+73.7%
エンジニアリング業	64,900	58,144	-6,755	-10.4%	43,712	+14,432	+33.0%
その他事業	100	71	-28	-28.3%	76	-5	-6.6%
合 計	65,000	58,216	-6,783	-10.4%	43,789	+14,426	+32.9%

過去5年間の完成工事高の推移（第2四半期）



- 完成工事高は前期比で144億円の増加
- 9/26発表値から67億円の減少要因は、会計処理方法の統一化や売上予定案件が第3四半期以降になったことによる期ズレ

【日常保全工事】

- ①発表値から増加

【定期修理工事】

- ①一部の大型定期修理工事の完工が下期にズレたが、追加工事等の増加により発表値に対し増加

【改造・改修工事】

- ①工事の完工が下期にズレたこと、工事進行基準の会計処理統一を図る中で売上計上が下期以降となったことなどにより減少

【新規設備工事】

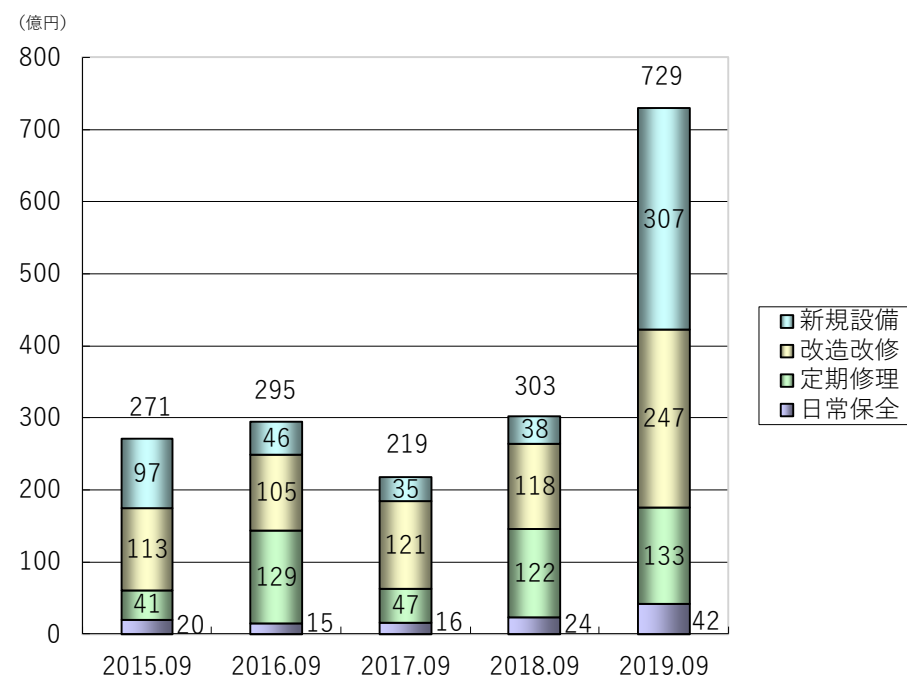
- ①一部の大型工事の売上計上が下期へ
- ②工事の完工が下期にズレたこと、工事進行基準の会計処理統一を図る中で売上計上が下期以降となったことなどにより減少

5. 受注残高（連結）

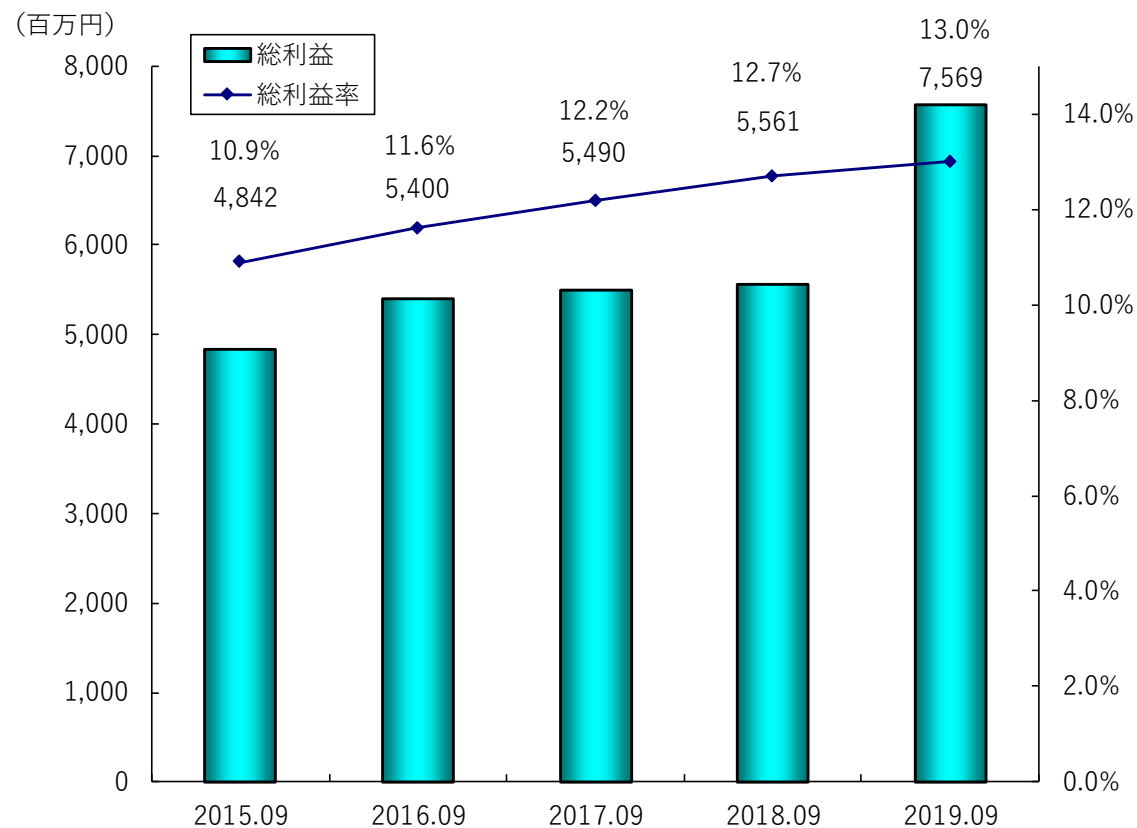
【過去5年間の受注残高の推移（第2四半期）】

（単位：百万円）

	2015.09	2016.09	2017.09	2018.09	2019.09
日常保全工事	2,007	1,460	1,585	2,373	4,231
定期修理工事	4,112	12,861	4,730	12,218	13,306
改造改修工事	11,321	10,545	12,087	11,837	24,742
新規設備工事	9,689	4,594	3,453	3,842	30,660
合 計	27,130	29,462	21,857	30,273	72,942



6. 総利益（連結）



●総利益は75億6千万円。前期比 36.1%の増加

●9/26発表値 60億円に対しては、26.2%の増加

●総利益率は12.7%から13.0%と0.3ポイント上昇、
9/26発表値の利益率9.2%から3.8ポイント上昇

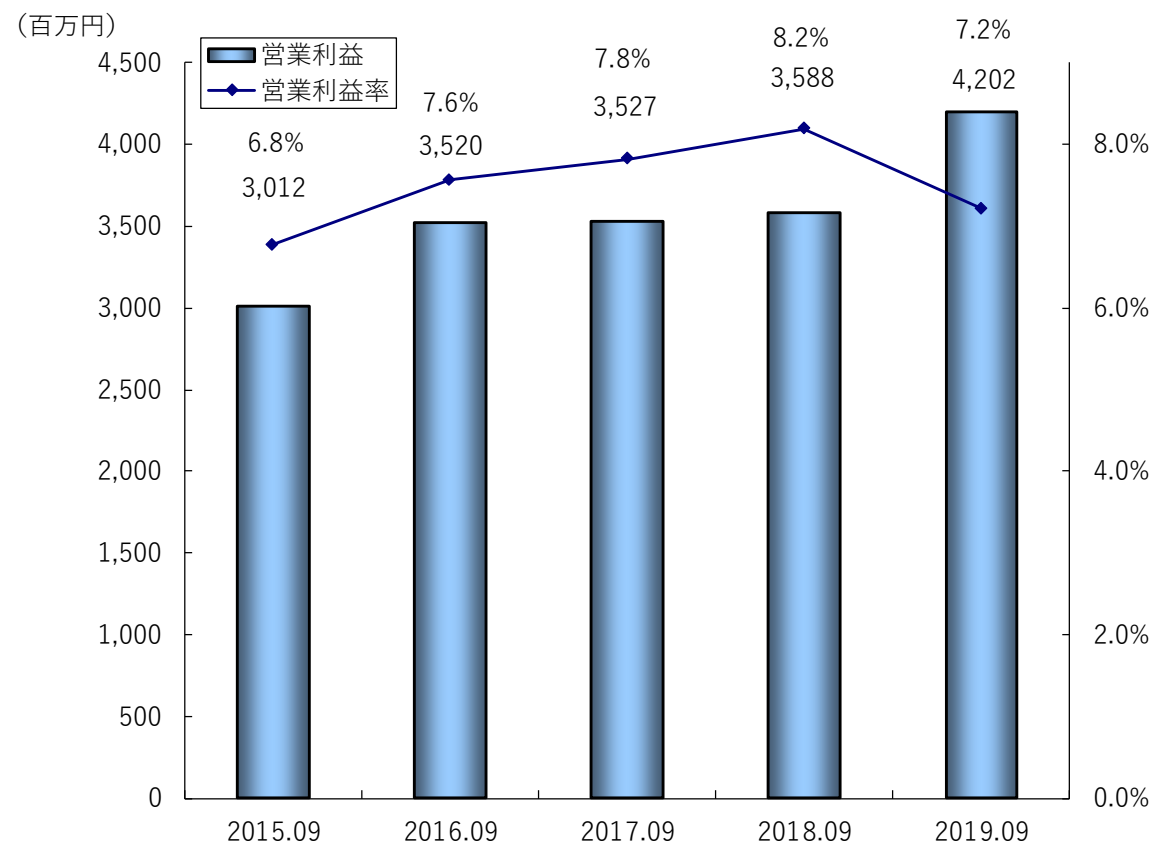
要因：

●経営統合による総利益額の押し上げ

●現場の努力および効率化により、定期修理工事の集中
や人手不足による労務費の上昇に対し、収益管理の強
化、作業効率の向上、間接コストの圧縮など、継続的
なコスト低減を図り、収益を確保

●上期に売上を想定していた収益性の低い大型工事の完
成が下期にズレ込む

7. 営業利益（連結）



- 一般管理費は合併による増加、経営統合により特別に支出した費用が約6億5千万円、新規子会社の連結による増加などもあり、33億6千万円
- 営業利益は42億円。前期比 17.1%の増加
- 9/26発表値27億円に対しては、55.6%の増加
- 営業利益率は8.2%から7.2%へ1.0ポイント低下
9/26発表値の利益率4.2%から3.0ポイント上昇

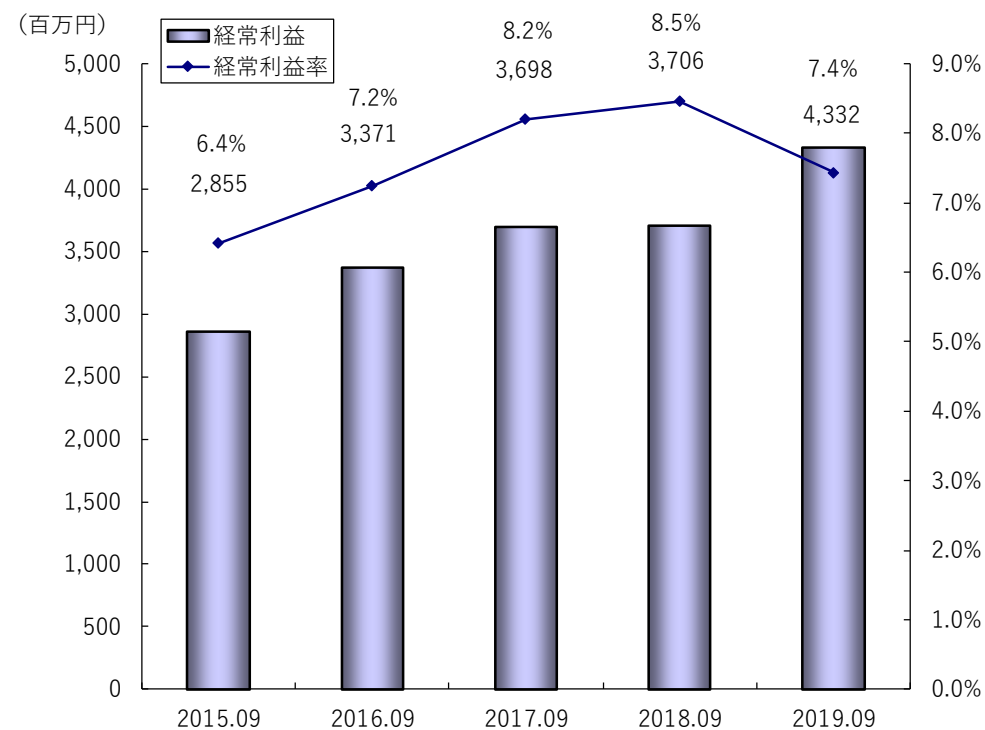
8. 営業外損益・経常利益（連結）

【営業外損益】

(単位：百万円)

	2018.09	2019.09	前期比
【営業外収益】			
受取利息	1	2	+0
受取配当金	65	69	+4
受取賃借料	45	46	+0
その他	38	61	+22
計	151	179	+28
【営業外費用】			
支払利息	2	5	+3
為替差損	17	25	+8
その他	13	18	+4
計	32	49	+16
【営業外損益】	118	130	+11

【経常利益】



- 経常利益は43億3千万円。前期比 16.9%の増加
- 9/26発表値29億円に対しては、49.4%の増加
- 経常利益率は8.5%から7.4%へ1.1ポイント低下
9/26発表値の利益率4.5%からは2.9ポイント上昇

9. 特別損益・当期純利益（連結）

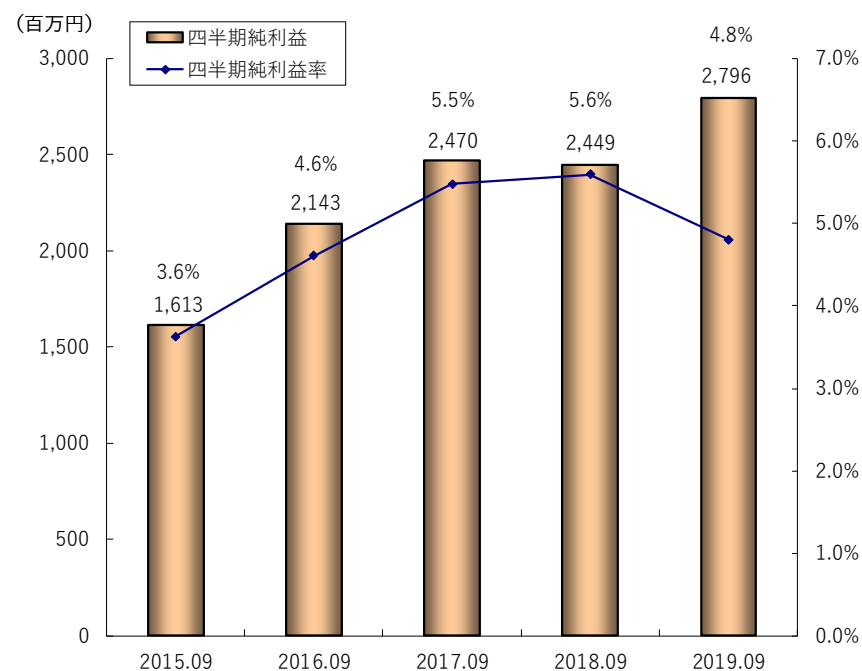
【特別損益】

（単位：百万円）

	2018.09	2019.09	前期比
【特別利益】			
固定資産売却益	1	0	-1
負ののれん発生益		5,531	+5,531
計	1	5,531	+5,530
【特別損失】			
固定資産売却損	0	4	+4
固定資産除却損	0	9	+9
計	0	13	+13
【特別損益】	1	5,517	+5,516

●経営統合により特別利益に「負ののれん発生益」55億3千万円を計上

【親会社株主に帰属する四半期純利益】



注）上図のグラフの2019.09の数値は負ののれん発生益を除いた四半期純利益となっております。

●親会社株主に帰属する四半期純利益は83億2千万円。前期比240.0%の増加。純利益率は14.3%

●負ののれん発生益を除いた親会社株主に帰属する四半期純利益は27億9千万円。前期比14.2%の増加

●9/26発表値18億5千万円に対しては、51.1%の増加。純利益率は4.8%。
9/26発表値の利益率2.8%から 2.0ポイント上昇

10. 貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	2018.09 実績 構成比	2019.03 実績 構成比	2019.09 実績 構成比	前期末比		2018.09 実績 構成比	2019.03 実績 構成比	2019.09 実績 構成比	前期末比
【流動資産】	62,576 77.8%	63,007 78.6%	79,284 77.8%	+16,276	【流動負債】	32,075 39.9%	29,845 37.2%	33,528 32.9%	+3,682
現金預金	8,820 11.0%	16,954 21.2%	5,605 5.5%	-11,348	支払手形及び 工事未払金	26,657 33.2%	23,719 29.6%	24,751 24.3%	+1,031
受取手形及び 完成工事未収入金	41,510 51.6%	39,850 49.7%	52,798 51.8%	+12,948	短期借入金	233 0.3%	205 0.3%	243 0.2%	+38
未成工事支出金	12,045 15.0%	6,020 7.5%	17,893 17.6%	+11,872	未成工事受入金	1,445 1.8%	535 0.7%	1,043 1.0%	+508
その他	199 0.2%	182 0.2%	2,987 2.9%	+2,804	その他	3,740 4.6%	5,385 6.6%	7,489 7.4%	+2,103
【固定資産】	17,815 22.2%	17,147 21.4%	22,660 22.2%	+5,512	【固定負債】	2,202 2.7%	2,321 2.9%	3,984 3.9%	+1,662
有形固定資産	10,955 13.6%	11,069 13.8%	12,844 12.6%	+1,775	長期借入金	72 0.1%	53 0.1%	35 0.0%	-17
無形固定資産	232 0.3%	271 0.3%	1,094 1.1%	+823	退職給付に係る負債	1,842 2.3%	1,984 2.5%	3,638 3.6%	+1,654
投資その他の資産	6,626 8.2%	5,807 7.2%	8,720 8.6%	+2,913	その他	287 0.3%	283 0.3%	309 0.3%	+26
					【負債合計】	34,278 42.6%	32,167 40.1%	37,512 36.8%	+5,344
					【純資産】	46,113 57.4%	47,988 59.9%	64,433 63.2%	+16,444
					（内 非支配株主持分）	（819）（1.0%）	（865）（1.1%）	（933）（0.9%）	+68
【資産合計】	80,391 100.0%	80,155 100.0%	101,945 100.0%	+21,789	【負債・純資産合計】	80,391 100.0%	80,155 100.0%	101,945 100.0%	+21,789

※ 自己資本比率（連結） 62.3%

11. キャッシュ・フロー（連結）

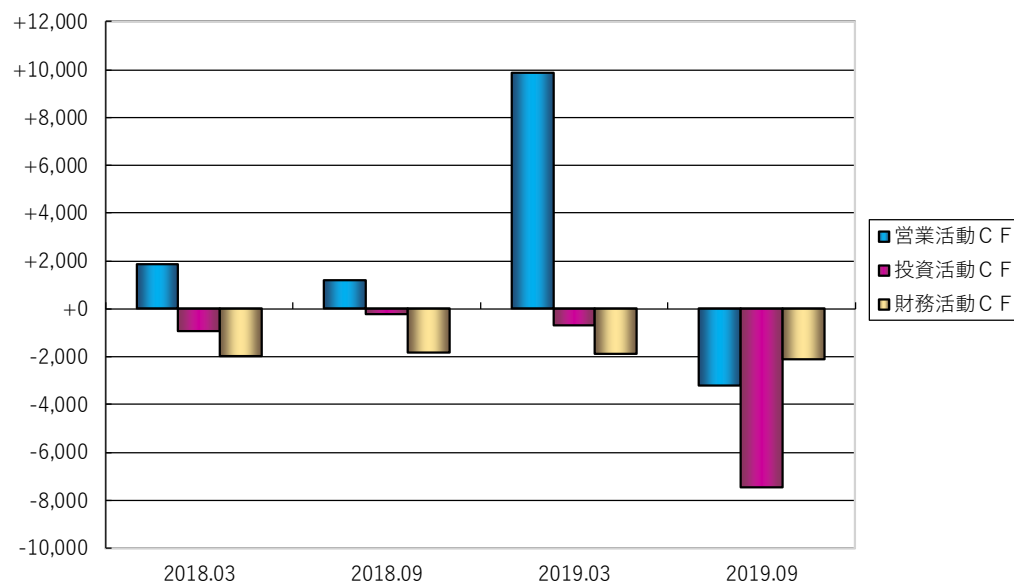
（単位：百万円）

	2018.03	2018.09	2019.03	2019.09
営業活動 C F	+1,856	+1,198	+9,842	-3,202
投資活動 C F	-944	-227	-681	-7,463
財務活動 C F	-1,991	-1,842	-1,893	-2,121
現金及び現金同等物 に係る換算差額	-4	-17	-23	-3
現金及び現金同等物の増減額	-1,083	-888	+7,243	-12,790

特記事項

- ① 連結範囲の変更および合併に伴う現金及び現金同等物の増加が14億4千万円あり、現金および現金同等物の9月末残高は、54億7千万円

（百万円）



12. 2020年3月期の業績見通し（連結）

（単位：百万円）

	通 期				
	9/26発表値	2020.03 予想		発表値比	増減率
		上期実績	通期予想		
受 注 高	162,500	101,090	166,000	+3,500	+2.2%
完 成 工 事 高	140,000	58,216	140,000	+0	+0.0%
総 利 益	12,700	7,569	14,000	+1,300	+10.2%
(率)	9.1%	13.0%	10.0%	+0.9%	-
一 般 管 理 費	6,400	3,367	6,500	+100	+1.6%
(率)	4.6%	5.8%	4.6%	+0.0%	-
営 業 利 益	6,300	4,202	7,500	+1,200	+19.0%
(率)	4.5%	7.2%	5.4%	+0.9%	-
経 常 利 益	6,550	4,332	7,650	+1,100	+16.8%
(率)	4.7%	7.4%	5.5%	+0.7%	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,200	8,327	10,250	+6,050	+144.0%
(率)	3.0%	14.3%	7.3%	+4.2%	-
1株当たり当期純利益	77.53円	165.83円	189.23円	111.70円	+144.1%
受 注 残 高	52,693	72,942	56,193	+3,500	+6.6%

（参考）

（単位：百万円）

前期（2019.03）		
通期実績との差異		
	前期比	増減率
104,588	+61,412	+58.7%
97,331	+42,669	+43.8%
11,984	+2,016	+16.8%
12.3%	-2.3%	-
4,300	+2,200	+51.2%
4.4%	+0.2%	-
7,683	-183	-2.4%
7.9%	-2.5%	-
7,939	-289	-3.6%
8.2%	-2.7%	-
5,225	+5,025	+96.2%
5.4%	+1.9%	-

※上記の前期比および増減率は左表の通期予想値との比較です。

13. 受注高及び完成工事高の内訳（連結）

受注高

（単位：百万円）

	9/26想定値	2020.03 予想		想定値比	前期（2019.03）	
		上期実績	通期予想		通期実績	前期比
日常保全工事	29,200	15,281	30,000	+800	26,050	+3,950
定期修理工事	44,800	26,328	49,000	+4,200	44,567	+4,433
改造改修工事	46,200	29,270	45,300	-900	26,178	+19,122
新規設備工事	42,300	30,211	41,700	-600	7,791	+33,909
エンジニアリング業	162,500	101,090	166,000	+3,500	104,588	+61,412

完成工事高

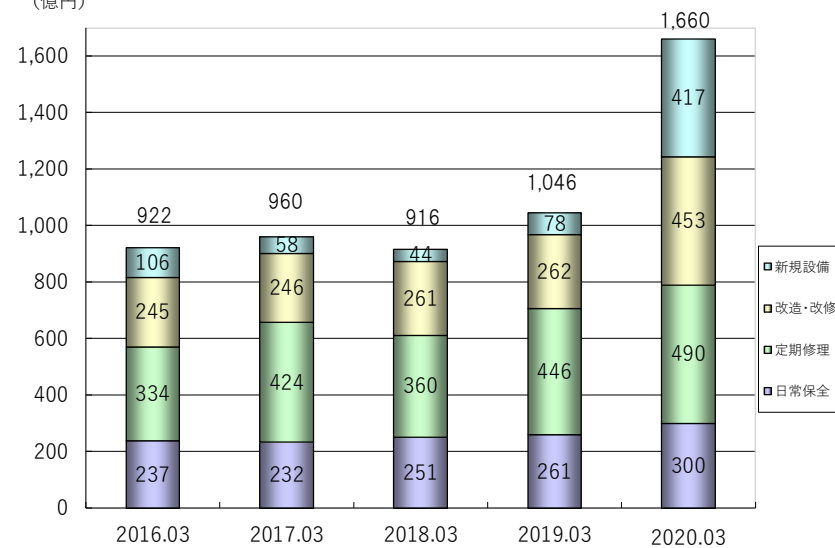
（単位：百万円）

	9/26発表値	2020.03 予想		発表値比	前期（2019.03）	
		上期実績	通期予想		通期実績	前期比
日常保全工事	28,100	13,490	29,200	+1,100	25,571	+3,629
定期修理工事	38,300	24,573	40,200	+1,900	43,813	-3,613
改造改修工事	45,100	15,017	43,100	-2,000	22,476	+20,624
新規設備工事	28,300	5,063	27,300	-1,000	5,333	+21,967
エンジニアリング業	139,800	58,144	139,800	0	97,195	+42,605
その他事業	200	71	200	0	136	+64
合 計	140,000	58,216	140,000	0	97,331	+42,669

14. 通期業績の推移

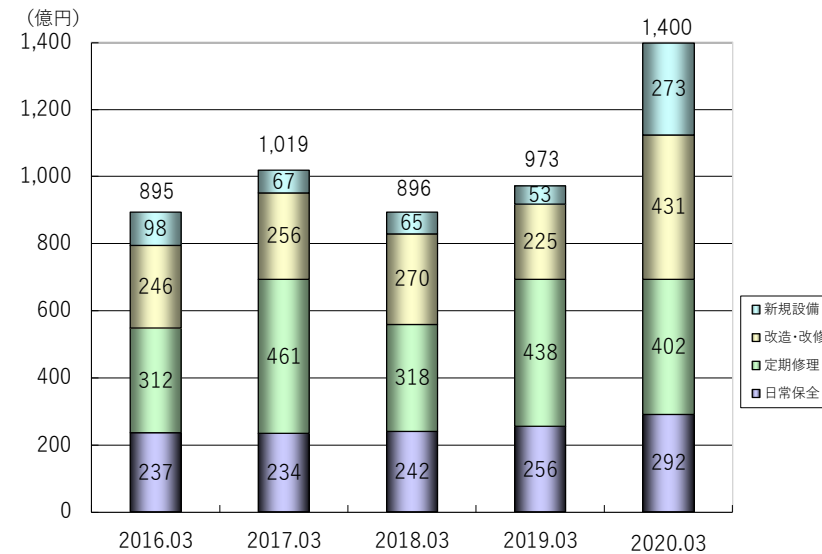
【受注高】

(億円)



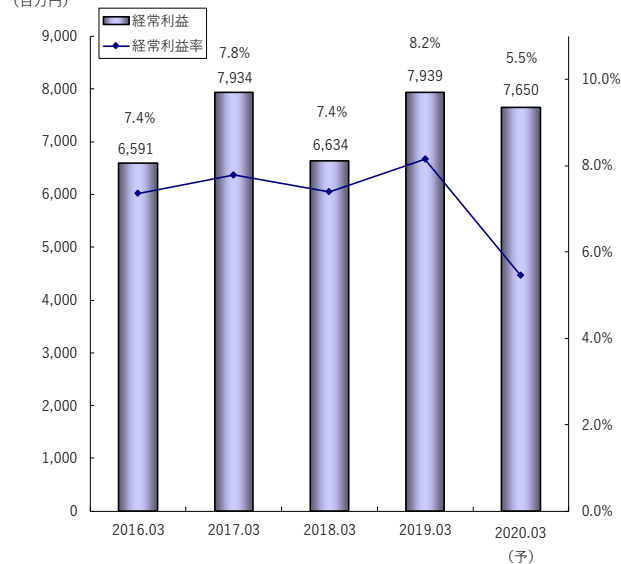
【完成工事高】

(億円)



【経常利益】

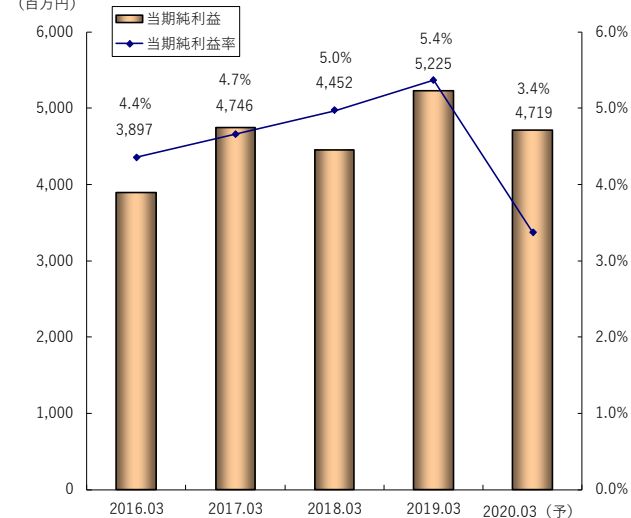
(百万円)



【当期純利益】

(予)

(百万円)



注) 左図のグラフの
2020.03(予)の数
値は負ののれん発
生益を除いた当期
純利益となっております。

15. 配当について

配当に関する基本認識

当社グループの事業は、石油・石油化学・非鉄金属等のプラント関連のメンテナンス事業およびエンジニアリング事業を基盤としており、民間設備投資の増減に影響され易い受注産業に属しております。事業の性格を踏まえ、経営環境の変化と今後の事業の展開に備えて企業体質の強化を図り、安定的な経営基盤を構築することが企業価値を増大させ、ひいては、株主、顧客、取引先、社員等の各関係者の将来的な利益を確保することに繋がるものであるということを基本方針としております。

配当方針

基本方針のもと、株主に対する利益配当に関しましては、経営の最重要課題と位置づけ、収益に対応した配当施策を実施すべきものと考え、配当の継続性および安定性という面にも充分留意し、強固な事業基盤と将来の事業拡大に必要な内部留保を確保した上で、40%以上の配当性向（連結）を目標といたします。

2020年3月期 配当予想

●期末配当 35円 （連結配当性向 40.2%）

公表資料のとおり、業績は順調に推移しておりますので、期末の配当予想を1株につき32円から3円増配した35円に修正いたします。なお、配当予想につきましては、経営統合に係る損益である負ののれん発生益は除いて算出しております。

また、連結配当性向につきましては以下のとおり算出しており、40.2%となります。

$$\text{連結配当性向} = \{ \text{配当金総額} \div \text{連結当期純利益予想（負ののれん発生益を除く）} \} \times 100$$

この資料には、2019年11月15日現在の将来に関する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動などに伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

レイズネクスト株式会社

〒235-0017 横浜市磯子区新磯子町27番地5

経営企画部 業績・IRグループ

TEL：045-758-1953／FAX：045-758-1999

E-MAIL：ir-info@raiznext.co.jp

URL：<https://www.raiznext.co.jp>



レイズネクスト株式会社